

建設科

New学科

地域の業界団体及び企業等と連携し実習を通じて建設技術・技能に関する基本技術を身につけ、将来、建設関係の業務に従事できるように備えます。

建設科では・・・

- ◎ 土木及び建築について幅広く学ぶことができるように授業展開します。
- ◎ 産業現場と連携した長期間の現場実習等を取り入れます。
- ◎ 建設産業を担う人材育成の一環として各種資格取得に向けた取り組みを展開します。

建設科で学べる 専門科目	工業技術基礎、工業情報数理、製図、建設実習、課題研究、 (土木科目)：測量、土木構造設計、土木施工、社会基盤工学 (建築科目)：建築構造、建築計画、建築構造設計、建築施工、建築法規 ※建築科目については履修条件あり
建設科の生徒が 取得可能な資格・検定	測量士、測量士補、2級土木施工管理技士補、2級建築施工管理技士補、 計算技術検定、情報技術検定、建築CAD検定、トレース技能検定、 各種技能検定、各種技能講習・特別教育、 など (卒業後) 二級建築士、上記の上級資格他
建設科の実習で 学ぶことは	2学年の専門科目「実習」では、校内における実習とともに、長期間の 現場実習を校外で実施します。 長期間の現場実習は地域の業界団体と連携し、5日間の集中型現場実習 を含め、年間を通して行います。 土木や建築に関する実務的な知識や実践的な技術・技能の習得を図り、 建設産業の発展に主体的に取り組む態度を育成します。
実習内容	「測量」、「コンクリートの配合・調合設計」、「コンクリートの圧縮試験」、 「モルタル供試体の曲げ試験」、「鉄筋の引張・曲げ試験」、 「水理・土質試験」、「製図」、「CAD」、「土木情報学」、「丁張」、「足場」、 「遣り方」、「環境測定」 など